徳永　伸行 議員

問 ミドリガメ駆除の課題と成果は

答 課題はみえた、処分方法を検討

問 ミドリガメ駆除に予算を計上。課題と成果は。今後の継続方針を問う。

企画課長

ミドリガメの駆除と処分を行った地区に1匹当り200円を交付。取組みは、蛭池と道本の2地区で、他の地区や町民の方からは問合わせや相談を受けている。

課題として、捕獲したミドリガメの処分方法と捕獲後の生態系への影響の2点が挙った。素早く処理しないと悪臭がひどく、土に埋めるほかないとのこと。東播磨ではいち早く駆除に取組んでいる。明石市の一時保管プールは収容能力が最大千匹、市の捕獲分と、飼育できなくなった市民からの持ち込みにも対応。最終的には堆肥化を検討。加古川市では凍死させ堆肥化を行っている。干し草をベースに腐葉土と米ぬかを使い、二～三週間で分解、牛糞堆肥並みの窒素・リンを含み、即効性が確認され、悪臭もしないとのこと。駆除した堀は、急激な生態系の変化により負の影響を与える可能性もある。目標は、堀の生態系を保存することで、堀に対して関心を高めてもらうことが重要。実施地区から情報を貰い、相当の関心を持っていただいたものと捉えており、初年度の成果は得ることができた。今後は、総括的な会議を持ち取組地区を広げて情報収集に努め課題解決と堀に対する関心を高めていきたい。

繁殖を続けるミドリガメ

問 防災無線放送の訓練について伺う

答 大木町は問題ない

問 11月29日の防災無線放送の訓練で大木町では問題はなかったのか。

総務課長

緊急地震速報などの情報を町民に伝達するため、災害に強いデジタルMCA無線の整備を行い、運用をしている。

全国瞬時警報システムにより衛星回線で庁舎を経由し、福岡統制局が集約制御した後、久留米中継局から発せられる電波を町内12カ所のスピーカーが受信し、放送が流れる。本町では異常はなかったが、本町と同様の整備をしている大牟田市、みやま市、柳川市及び筑後市において放送が流れない問題が生じた。自治体側の機器・設備の問題ではなく、福岡統制局の通信制御装置に一部不具合が生じたためで、詳細は調査中である。

全国一斉情報伝達訓練に毎年参加しているが、本町ではこれまで異常はない。災害時などは、車両広報、MCA無線放送、ホームページへの掲載、エリアメール並びに防災メールまもるくんなど、多様な手段での情報伝達に努めている。町民の皆様にはマスメディアを含めた多様な手段で情報の収集を行っていただきたい。

設置されているスピーカー